

Key
Person



(株)ティースクリエイトナガナワ 代表取締役社長

長縄 洋幸

「なぜこんなに大変な思いをしないといけないんだろう、と思うこともあります」——

歯科技工士という仕事の苦労を、長縄社長はそう話す。

何度も微調整を繰り返し、寝る間も惜しんで被せ物をつくっても、

満足してもらえる仕上がりになっているかは、患者が装着するまで分からない。

上手くいったか不安で、装着してもらう日まで眠れないこともあるという。

歯は食べるため——生きるために不可欠で、見た目や自信にもつながる大切なもの。

だからそう簡単に、代替品を作れるものではないのだ。

それ故歯科技工士に求められるものは大きく、苦労も絶えることはないのだろう。

(対談記事は*~*頁に掲載)

「それでも、患者様が喜んでくれるのなら
どんな苦労にも耐えて、もっと頑張ろうと思えるんです」

歯